

広報

ふんてん



Vol.39



【特集】

共に語ろう、これからのまちづくり

2010年
2・3月号



共に語ろう、

これからのまちづくり

平成21年度市政懇談会での意見と回答

『共に語ろう、これからのまちづくり』をテーマに、今年度も10月20日から11月25日まで、市内8会場において市政懇談会を開催しました。

延べ363人の市民の皆さんにご参加いただき、さまざまなご意見、ご提案をいただきました。その主なご意見と回答を紹介します。

また、来年度以降の開催に向けて、開催時期や会場数、内容などについて伺うアンケートを参加者の皆さんに実施しました。皆さんのご意見やご感想を勘案し、今後は、より多くの方にご参加いただき、さらに有意義な懇談会となるよう、実施内容について検討したいと考えています。

各会場の参加者数

開催日	会場	参加者数
10月20日(火)	美山文化ホール(美山)	64人
10月26日(月)	日吉市民センター(日吉)	50人
11月 4日(水)	氷室の郷(八木)	28人
11月 6日(金)	摩気小学校(園部)	30人
11月17日(火)	美山知井会館(美山)	32人
11月19日(木)	胡麻基幹集落センター(日吉)	32人
11月24日(火)	八木公民館(八木)	56人
11月25日(水)	国際交流会館(園部)	71人
合計 8会場		363人

広報 なんたん もくじ

- ② **特集①共に語ろう、
これからのまちづくり**
- ⑩ **特集②JR山陰本線
(京都-園部間) 複線化が完成**
- ⑫ **南丹市議会議員一般選挙**
- ⑭ **南丹文化ジョイントプログラム2009**
- ⑯ **市政へのご意見箱Q&A**
- ⑰ **インフォメーション
・京都地方税機構で滞納整理業務を実施**
- ⑱ **行政トピックス
・平成22年南丹市消防団出初式
・平成22年南丹市成人式 ほか**
- ⑳ **いきいき南丹**
- ㉑ **人権の窓/環・境・市・民**
- ㉒ **図書館へようこそ! /暮らしにホッと**
- ㉓ **ぶらりなんたん**
- ㉔ **みんなのひろば
・大堰川ジョギング大会 ほか**
- ㉕ **なんたんミュージアム/わが家のアイドル**

今月の表紙(15ページ関連)

南丹工芸文化祭の工芸体験コーナー「木工体験」。市内で活動する工芸家の指導を受け、真剣な表情でクロモジなどの香りの良い木を削り、えんぴつの形をしたストラップづくりに挑戦!



生涯充実して暮らせる都市を創る

Q ① 子育て支援は金銭面の支援も必要だが、空き保育施設の利用や、子連れ勤務（子ども連れで出勤し、育児が必要な時は別室で育児をする）ができるような施策を考えるとどうか。（美山文化ホール）

A ① 保護者の保育に対するニーズは多様化しています。保育のニーズに対応できる体制づくりの検討をしていきます。また、市の業務も保育所と幼稚園の縦分けをせず、総合的に管轄する子育て支援課の設置やプロジェクトチームをつくり、時代やニーズに合った子育て支援を進めています。

Q ② 少子化により小学校入学の統廃合が問題になっている。教育効果を考えると、児童数が多い中で学ばせる方が良いともいわれるが、地域の絆を守るには有形の学校が核となるため、統廃合については慎重に議論して、地域活性化のための検討をしてほしい。（八木公民館）

A ② 教育では学校統廃合があり、子どもたちにとってどうすれば良いかを一番に考え、これからの議論を深めていきたいと考えています。

（教育長回答）このまま少子化が進めば平成24、25年度には複式や複々式学級が増大します。子どもたちがどのような環境で学ぶのが望ましいのか、学校の環境、集団生活、知識だけでなく、お互いに学び合い、考え合う環境が必要です。複式の状態を保護者にも検討してもらい、意見をいただきながら対応していきます。

Q ③ 福祉用具は指定業者でないが、購入費の支給対象と売しているし安価に購入できる。業者指定する理由があるのか。（摩気小学校）

A ③ （福祉部長回答）福祉用具は、その扱いについて専門的な知識が必要な場合が多く、利用者の状態や、どこでど

のように使われるかなどを検討し一人一人に合ったものを選ぶことがとても大切です。このため都道府県の指定を受けようとする販売業者には、福祉用具専門相談員など専門家の配置が義務付けられています。また、指定を受けた業者で購入しないと、介護保険の適用を受けることができません。福祉用具を購入される際は、市役所、地域包括支援センター、介護支援専門員（ケアマネジャー）などにご相談いただき、ほかの介護保険サービスの利用も考慮して効果的に利用いただくために、ご理解をお願いします。

Q ④ 小学校3年、中学校2年、高校1年の子どもがいるが、新型インフルエンザのワクチン接種が受けられる時期など情報がほしい。（氷室の郷）

A ④ ワクチンの接種ができる明確な時期については、保健所や医師会と連携を図り、正確な情報が入り次第CATV、お知らせ版を通してお伝えします。

Q ⑤ 合併時には市内の建設工事などは地元業者を優先するといった状況で困っている。(美山知井会館)

A ⑤ ゆるやかな合併を目指して進めてきましたが、現

在の厳しい景気状況は予測できなかったもので、国の概算要求も15〜20%ダウンし、今後も公共事業の落ち込みは心配しています。可能な限り市内業者に発注を行い、競争入札により契約していただきますのでご理解ください。

自然・文化・人を活かした郷を創る

Q ⑥ 農地の取得について、南丹市では10アールでの取得が可能となったが、都会の人たちは10アール以下の狭い畑でも耕作したいと希望している。法律の規制はあるにしても法律の運用による柔軟な対応ができないか。(美山文化ホール)

A ⑥ 農地法では10アールが要件の最小単位です。農業が成り立つため、また、むやみな手法により耕作地を破壊させない目的で下限面積要件を定め、規制しています。ただ、小規模な農地を求める人に対しては、例えば市民農園(貸し農園)を耕作してもらうなど、規律に沿った監視、管理の下で、ニーズのある方に対応できる方



▲畑郷ふれあい農園(日吉町内)で植付祭を楽しむ参加者

法を検討することも必要と考えられています。

※農地法では、都府県における農地取得の下限面積要件を原則50アールと定めていますが、知事が地域に応じた別の面積を定めることができる」と規定されています。南

丹市では知事へ要請し、平成21年4月に従来の30〜50アールを一律10アールに見直し、多様な担い手の確保による農地の有効利用と新規就農者の創出に努めています。

Q ⑦ 園部公園付近を散歩しているが、ペットボトルやごみが落ちていたので拾いながら数力所に集めておいたところ、不法投棄防止の警告看板が張られていた。ごみ箱を設置しないのであれば、市が定期的に巡回して回収してほしい。また、市民みんなが拾う習慣を身に付けてはどうか。(国際交流会館)

A ⑦ 市の施設管理は所管課ですが、十分でないかと反省しています。ごみ箱を置くと家庭ゴミや危険物を入れられる恐れがあるので、近所の方から設置しないでほしいと言われて撤去したところもあります。職員も気が付いたら拾う習慣を徹底するようにします。

いただいたが、来年度に向けお願いしたい。(八木公民館)

A ⑧ 可燃ごみ回収は、船井郡衛生管理組合に対応してもらっていますが、京丹波町も含めて均衡あるサービスが実施できるよう今後も連携していきます。

※これまでは、可燃ごみ収集の指定曜日が祝日と重なった場合、翌指定曜日まで収集がありませんでしたが、平成21年4月からは、原則として祝日の翌日に収集が行われています。

Q ⑨ 都市型農村や中山間地の状況で、農産物の価格も下落している。朝市や道の駅で付加価値を付けて販売しているが、市からの援助をしてももらえないか。(美山知井会館)

A ⑨ 道の駅や直売所では消費者のニーズに合うように泥を落としたり朝採りの新鮮なものを取売したりと、努力をいただいています。今年度実施しました南丹食の祭典加工食品コンテストで最優秀賞を



▲「ふらっと美山」店内に並ぶ加工品や新鮮野菜

◀有害鳥獣対策として設置された防除ネット

大野農産加工グループの『黄金芋』が受賞されましたが、都市交流を進める中でこれらの特産品も広げていきたいと考えています。担い手不足は深刻な問題ですが、付加価値の付くものを生産いただくためにも有害鳥獣の駆除をはじめ、行政でできることは地元と連携しながら取り組んでいきます。

※有害鳥獣捕獲については、これまで捕獲許可が市町村域に限られていたこともあり、市町村を越えて移動する個体の捕獲を断念するケースが多くありました。このため、平成21年度から広域捕獲隊を編成いただき、市町村境界をまたがった広域有害鳥獣捕獲、また鳥獣保護区での有害鳥獣捕獲を迅速かつ、効果的に実施し、鳥獣被害

直接的な被害のほか、耕作意欲がなくなるといふ精神的な被害についてもお話を聞いています。広域的な実情があることから、市としてもこの施策については、防除施設設置に係る資材費補助を府補助率50%に市補助率20%を上乗せし、平成20年度の獣害対策費は対前年度比約17%の増額をしました。また、市猟友会捕獲班による有害鳥獣捕獲についても努力いただいているところです。

Q ⑩ 有害鳥獣の被害が多く、フェンスの設置など獣害対策の要望を上げているが、一方で駆除しても地域の中で行ったり来たりしている状況であり抜本的な対策ができないのか。(氷室の郷)



▲京阪京都交通の快速バス「美山ネイチャー号」

A ⑪ 京阪京都交通に9〜11月の土・日・祝日のみ試行運転をしていただきました。このシーズン中に4,000人近くの乗車があり、来春にも再開

Q ⑫ 桂駅から美山ネイチャー号が運行されているが、多い時は1台に付き30人乗車で、一日に3台入ってくることもある。3時間余りの滞在時間がある中で、地元を観光してもらうためマイクロボスの配車をするにはできないか。(美山知井会館)

の深刻化・広域化に対応できるような体制整備も図っています。

A ⑫ 防災行政無線は、災害などに必要な情報をお知らせするためのシステムとして、合併前に日吉町で整備していましたが、合併後は八木町、美山町で順次整備しており、将来は市内全域で整備の予定をしています。整備に当たっては、設備の有効活用が図られるように各集落などに放送設備を設置していますので、集落内の連絡などにも活用していただくことができます。現在は、緊急地震速報を防災行政無線に接続するための整備を進めており、今後さらなる有効活用が図れるように検討していきます。

Q ⑫ 防災行政無線は市内全域に設置されているのか。機器を設置したメリット・デメリットが分からない。電気代だけが掛かっているのでは無駄ではないか。(美山知井会館)

してほしいと要望しているところです。観光客の対応については、美山町観光協会や美山町内の諸団体と連携する中で、さまざまな角度から知恵を絞り、成果が出るように取り組んでいきます。

人・物・情報を高度につなげる

Q ⑬ JR山陰本線園部駅までの複線電化が進められているが、せめて胡麻駅まで複線化できないか。朝の通勤時間帯は30分に1本の運行をしてもらえるよう要望してほしい。(胡麻基幹集落センター)

A ⑬ 平成22年3月には京都―園部間の複線電化が完成しますが、綾部や福知山までの複線化については引き続き要望していきます。JRの管轄では、園部までが京都支社で園部以北が福知山支社になるため、

採算性からいえば困難な状況ではありますが、増便の要望とともに乗客を増やす方策も考えていかなければなりません。

Q ⑭ JR八木駅は、明治32年の山陰線開通以来の駅の中では一番古いもので、老朽化した階段手すりはトゲが刺さり危険であるため、早期に全面改築してほしい。また、東西通路もなく不便であり、南丹病院への通院者のことを考えてエレベーターの設置をぜひしてほしい。(八木公民館)

A ⑭ 八木駅舎改築要望に行っており、市議会の要望も受けて今後も引き続き推進していきます。駅舎については、周辺の土地区画整理事業を含めて計画しているところで、平成21年度は駅舎等整備計画調査を実施しています。

で大型車がすれ違うことができない箇所や迂回路がないところもある。広域農道も早く完成させてほしい。(日吉市民センター)

A ⑮ 上下水道やCATVなどインフラ整備はほぼ完成し、道路整備も積極的に行っているところですが、合併により市道5000㎡、橋りょう500橋以上を管理することになり、財政的に厳しい状況であることをご理解いただけますようお願いいたします。農業用道路の整備については、平成22年度の事業完成に向け、事業実施主体の森林総合研究所ももちろん、京都府や関係機関を挙げてその推進に努力しているところです。また、生活道路としての利便性を考慮し、完成しているところから部分供用を開始しています。

Q ⑯ 美山町田歌大橋、芦生須後橋、南大橋など老朽化した橋があり合併特例債で改修されると聞いていたが、借金を減らすために工事は実施してもられないのか。(美山知井会館)

A ⑯ 合併特例債や過疎債はまちづくりの基盤整備には

不可欠であり、合併により許された特典を有効に活用していきたいと考えています。しかし、借金をするのも厳しい状況で、学校の耐震化工事や道路・橋の老朽化対策については、安全性の調査を実施し、優先順位をつけて計画的に進めています。

Q ⑰ 公共交通バスが運行されているが、乗り勝手が悪く、乗り継ぎが不便で、料金も高い。京丹後市の200円バスの成功例もあるので、実際にバス利用者の声を聞いてほしい。(国際交流会館)

A ⑰ 南丹市も高齢化比率が高く、さらに高齢者の運転免許更新も厳しくなったため、スクールバスの運行と併せて公共交通バスへの要望も多い状況です。しかし、採算の取れないところでの運行は厳しく、福祉有償運送の取り組みも進めています。(企画管理部長回答)南丹市には直営と委託と民間路線バスがあり、このほかに福祉有償運送があります。集落隔々まで行き渡っていないのが現状ですが、交通弱者を対象に具体的な聞き取り調査を実施しているところで、平成22



▲朝の通勤・通学時間帯の様子 (JR胡麻駅)

年3月のJ R山陰本線(京都―園部間)の複線化開通に合わせるため、バスのダイヤ改正も予定しています。

Q ⑱ CATVの利用料を月額1,500円支払っているが、再送信のメニューだけであればもっと安価で提供しているCATV局もある。平成23年の地上デジタル完全移行に伴って、CATVでは無料開放する予定はないのか。(胡麻基幹集落センター)

A ⑱ CATVでは、再送信にできており、一部地域を除いて光ファイバーでインターネットも利用できる環境になっています。CATV利用料については、これまで設備投資を行ってきたため平成23年に無料化することは困難ですが、引き続き経営努力をし、サービス向上に取り組んでいきます。

Q ⑲ 吉富駅西地区土地区画整理事業について、10数年前から要望する板野川改修については鳥羽の出合から吉富駅まではできたがその先がまだの

状態である。後継者不足問題や小学校児童の減少の状況を踏まえて人口増を図るために、平成19年11月に市街化区域となり区画整理事業の条件が整ったが、経済状況などを考えると計画が進むのか不安である。(八木公民館)

A ⑲ 板野川改修については、園部川より吉富駅までの間は完成をしています。吉富駅西側の事業延伸については、ほかの事業との整合を図るべく引き続き検討しているところです。土地区画整理事業については、地元意向をお聞きし、関係機関と連携を取りながら進めていきたいと考えています。市としてもさまざまな事業が組み合わさっているため、区民の皆さんや当該事業組合としての考え方をお聞かせい

たいです。



▲改修が完了したJ R吉富駅周辺の板野川

ただき、協議する中で総合的に検討していきます。

Q ⑳ 園部町内の中心部では家や店舗の取り壊しがされているが、本町・宮町・上本町の工事は順調に進んでいるのか。変更もあるのか。(国際交流会館)

A ⑳ 本町土地区画整理事業は、平成23年度をめどに事業を進めています。園部大橋から河原町まで国道9号の拡幅ならびに歩道整備も行われていますが、今後は南に向かって進められる予定です。

共に担うまちづくりの仕組みを築く

Q ㉑ 限界集落への行政支援はされないのか。自主独立できないところに行政との組み合わせにより対処していくのを目的に地域振興会ができたのではないのか。(美山知井会館)

A ㉑ 南丹市の高齢化比率は30〜40%と高く、園部の町なかでも高齢化は進んでおり、一人暮らしの高齢者対策やバス交通網の見直しが喫緊の課題になっています。過疎法についても平成21年度で終結することから、ソフト面での過疎対策をしていく必要があり、住民の力を基盤として、市民と行政が連携を強めながら市民協働による地域再生を進めていきたいと考えています。

Q ㉒ 市内には伝統工芸の学校があるが、芸術だけでは食べていけない。売れるものを作るためにも企業が手助けすることで職人を育てることはできないものか。(美山文化ホール)

A ㉒ 伝統工芸は古くから徒弟制度が残っており、一人前になるには何年もかかるといわれます。しかし、南丹市にある京都伝統工芸大学では、専門職人・伝統工芸士を講師に、伝統工芸の技を基礎とした高度な技術を直接指導され、多くの学生が職人やデザイナーとして巣立っています。地域の人材や京都新光悦村および京都伝統工芸大学校の存在を生かした起業支援や活性化の取り組みを支援します。

A ㉑ 南丹市の高齢化比率は30〜40%と高く、園部の町なかでも高齢化は進んでおり、一人暮らしの高齢者対策やバス交通網の見直しが喫緊の課題になっています。過疎法についても平成21年度で終結することから、ソフト面での過疎対策をしていく必要があり、住民の力を基盤として、市民と行政が連携を強めながら市民協働による地域再生を進めていきたいと考えています。



▲市役所窓口を設置しているご意見箱

Q ⑲ 財政状況などは厳しいがアイデアで乗り切れる。市民のアイデアを吸い上げるためにもご意見箱などを市民に広く公開し、市民の提案も生かしてほしい。(八木公民館)

A ⑲ 市民協働を進め、市民の皆さんと共にまちづくりを進めるシステムづくりを行います。また市役所に寄せられたご意見などは、市民の皆さんと共有できるように、広報誌やホームページでも随時紹介していきます。

Q ⑳ 市民の声を吸い上げるためにも各種審議会委員は公募性にするなどの改善を

し、委員の氏名も公表してほしい。(国際交流会館)

A ⑳ 各種審議会委員の選任にあたっては公募を心掛けています。審議会委員名簿や会議内容については、市のホームページや市役所の情報公開コーナーで閲覧いただけるよう広く公開しています。

Q ㉑ 広報なんたんの市民意識調査結果に、合併して4年近くなるが、「市の魅力」も「地域の活力」も無いという結果が掲載されていて残念に感じた。我々の住むまちに魅力と活力と展望を持って市民がまちづくりに参加できる抜本的な夢のある施策を考えてほしい。(八木公民館)

A ㉑ 「市の魅力」も「地域の活力」も南丹市のまちづくりにには欠かせないものです。調査については実態を表すものとして真摯に受け止め、現実の課題を直視し、より良い市政の実現に向け検討していきたいと考えています。

Q ㉒ お知らせ版やパンフレットなどの配布物が多く、すべ

て読むことができないが何か方策はないか。(日吉市民センター)

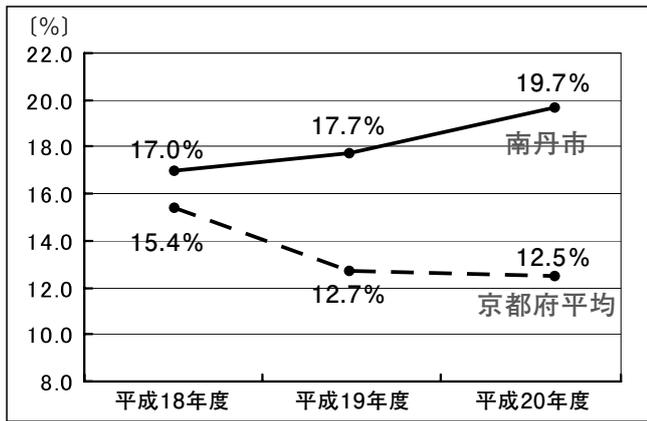
A ㉒ 市からの配布物が多く、読みきれないとの意見があることは承知しています。重複した内容の配布物にならないよう、他の機関とも調整し、減量化に努めます。また、紙面だけでなく、CATVやホームページ、インターネットなどを活用して、それぞれの媒体の特質を生かした情報発信、情報公開により、行政を理解していただき、情報共有していただける方法も考えていきます。

Q ㉓ 資料の人口一人当たりの決算額を見ると南丹市は京都府平均の倍になっているが、南丹市民は府内でもぜいたくをしているということなのか。(八木公民館)

A ㉓ 決してそういうことではなく、人口は少ないが広域であるため行政需要が多くなり、一人当たりの決算額も平均を上回る結果となっています。今の財政状況で切り詰めるべきは切り詰め、全体的な視野から支出抑制に努めていきます。



実質公債費比率(3カ年平均)の推移(表)



Q ⑳ 実質公債費比率19.7% (左表参照) は京都府内14市のうち悪い方から2番目ということだが、この厳しい財政状況は今年度以降も続くのか。健全財政に立て直す方法はないのか。指標の数値目標は立てているのか。(摩気小学校)

A ㉘ 旧町の起債償還がピークを迎えているので、今が一番厳しい状況であり徐々に良くなってきますが、交付税の見直しにより今後の推移については不明確となっています。健全財政のためには借金を減ら

すことが大事であり、無駄の見直しや外部評価を取り入れることで低コスト・高効率の行政運営を目指します。また、職員数の定員適正化や人件費削減も引き続き行います。目標数値については、今後、年度計画と見込みをお示しする予定です。

※実質公債費比率とは…市全会計の経常的な収入(公債費(借金返済額)に充てなければならぬものを除く)のうち、一部事務組合を含めた公債費(地方交付税で補てんされるものを除く)に充てられる比率のこと

Q ㉙ 市長が「厳しい、厳しい」というのは市民税の値上げを要求しようとしているのか。(日吉市民センター)

A ㉙ 税の値上げは考えていません。まずは歳出面で見直すべきところから見直していきます。今後も市職員数の適正化など市民サービスの低下にならないよう、さまざまご意見を拝聴しながら歳出削減に努めるとともに、歳入をいかに増やしていくか市民の皆さんと共に考えていきたいと思えます。

Q ㉚ 美山や日吉から本庁まで行くのは大変である。支所を存続させてほしい。(胡麻基幹集落センター)

A ㉚ 合併協議で支所はおおむね10年は存続させると決定していますが、10年後にどうするかということが課題になってきます。住民サービスを低下させないよう効率的組織運営と職員資質向上に努め、本庁と支所との連携強化に取り組みます。

Q ㉛ 公共施設が指定管理で外部委託されるように聞く。せめて、南丹市の施設は、南丹市の住民で管理できないのか。(日吉市民センター)

A ㉛ 合併後、市が保有している施設の管理については、直営か委託か選択してきました。公民館など地域に根ざしたものは、地元で管理いただくのが基本で、できるだけ効率的・効果的な団体に指定管理をお願いしたいと考えています。市には多くの施設・土地がありますが、使わなものは売却して厳しい財政状況に対応していきます。

アンケートのご意見(抜粋)

- ・会場数が少なすぎる。
- ・夏は遅い時間帯、冬は早い目の開催が望ましい。
- ・世代別に開催しては。
- ・各団体から意見を聞くシステムに変更していただきたい。
- ・年度当初に市政方針を聞かせてほしい。
- ・昨年度は市からの報告が長かったが、今年度は懇談時間が長くよかった。
- ・財政難を理由にしすぎている。
- ・せっかく担当部長が出席しているので直接答えられた方がよい。
- ・もう少し具体性のある内容の回答を。
- ・住民の参加が少ない。
- ・ほかの市民の意見を聞くことができたので有意義であった。
- ・堅苦しい感じだったので、街角懇話会などを考えてはどうか。

お聞かせいただいたご意見、ご提案は十分に検討し、今後の市政運営の参考にさせていただきます。なお、市役所行政資料コーナーおよび南丹市ホームページでも公開しています。

【問い合わせ先】

情報推進課

TEL 0771-68-0019



複線化になって行き違う電車
(八木町玉ノ井)

スピードアップや増便はもちろん、 利便性や快適性も向上

～JR山陰本線（京都―園部間）複線化が完成～

JR山陰本線が、3月13日から複線化に対応した新しいダイヤでの運行になります。複線化に際して本数が増え、乗り継ぎ時間が短縮されるなど、通勤・通学がますます便利になります。

26日付けで各戸配布しています

9本増便、最速36分

ダイヤの本数は、現行の145本から154本（特急を除く）になり、9本の増便となります。また、京都―園部間で最大で15分の短縮になり、最速の快速列車が36分。園部以北についても、園部での接続時間のほとんどが3分に短縮され、同一ホームでの乗り継ぎとなるなど、利便性が向上します。

そのほか、これまでの国鉄から継承した車両が、JR発足後に製造された車両にすべて置き換わり、快適性が向上します。

また、JRのダイヤ改正に合わせて、市営バスやぐるりんバスのダイヤ改正も行いますので、より便利な交通網を皆さんにご利用いただけます。（バスの時刻表は2月

朝の通勤時間帯は

朝の通勤ピーク時間帯に、園部から京都方面への快速を2本増発し、快速を1時間当たり5本、おむね12分間隔で運転。また、この時間帯のすべての快速が嵯峨嵐山駅で普通と接続するため、京都方面の通勤・通学がますます便利になります。

さらには、現在設定のない朝の通勤ピーク時間帯に、京都から園部方面への快速が2本増発されます。

マイタイムは

今回の複線化により普通の運転間隔が等間隔となり、より分かりやすく利用しやすいダイヤ体系になります。

また、園部駅での、上り（京都方面行）の快速や下り（福知山方面行）の普通との接続時間が短縮され、園部以北との相互間の利用が便利になります。園部駅での接続時間は、これまでの上り最大24



▲同一ホームでの乗り継ぎで便利に（園部駅）

分、下り最大13分がいずれも3分になります。

夕方の通勤時間帯は

夕方の通勤客の利用が多い時間帯に、京都から園部方面への快速が2本増発されます。

また、現在設定のない夕方の通勤時間帯に、園部から京都方面への快速が3本増発されます。

山陰本線の始まり

2010年（平成22年）は京都―綾部間の鉄道が開通して100年に当たります。その敷設の歴史は、明治20年ごろから京都と舞鶴を結ぶ鉄道の構想から始まったといえます。紆余曲折を繰り返しながらも、経済発展を願う沿線住民や京都の政財界が中心となった鉄道敷設運動が進められました。

敷設が決定的となったのは、山陰本線のもとを築いた「京都鉄道株式会社」の創立でした。京都鉄道株式会社は、明治26年7月に田



▲自動車と並走する蒸気機関車（昭和37年・八木町八木嶋）

中原太郎氏・浜岡光哲氏らが中心となって設立し、明治28年11月に京都―舞鶴間などの免許を得ました。

難工事と資金難

日清戦争の影響もあり工事に取掛かったのは明治29年4月。まず、二条―嵯峨間が明治30年2月に開業し、同年11月には京都―二条間が開通しました。ただ、園部方面については、嵯峨―亀岡間の約4.8キロが保津川沿いを通るため難工事となり、思うように工事



▲昭和37年の吉富駅

かつての園部駅のプラットホーム



が進まず、京都―園部間が開通したのは、明治32年8月でした。

園部以北の建設については、京都―園部間における土地買収や建設費などに相当な資金を投入してしまつたため資金繰りがつかなくなり、京都鉄道株式会社独自の建設は難しくなりました。そこで政府に、建設工期延長や補助金申請を行いました。折り返いがつかないまま、明治40年8月「鉄道国有法」によって京都鉄道株式会社は買収され、財産などのすべてが鉄道院へ引き継がれました。

国有鉄道となった後、1910年（明治43年）8月、園部―綾部間が開通し、これより先に開通していた福知山―綾部―舞鶴間と通じることになりました。

複線電化へ

その後、昭和62年4月国鉄分割民営化により西日本旅客鉄道株式会社が継承。平成元年4月に嵯峨

―馬堀間を複線の新線に切り替え、平成2年3月京都―園部間が電化。平成8年3月園部―綾部間が電化になり、平成22年3月京都―園部間が完全複線化になりました。

明治32年8月当時の京都鉄道株式会社は、京都―園部間3等34銭（現在の貨幣価値に換算すると約3,000円）、2等は3等の2倍、1等は3等の3倍だったそう。現在（園部―京都間570円）の約5倍というぜいたくな乗り物でした。所要時間は1時間30分で、現在の最速の快速列車が36分と聞くと当時の方々の驚く顔が目に見えそうです。このように、先人たちの思いが引き継がれ山陰本線は発展してきました。

100周年を記念して

南丹市立文化博物館・南丹市日吉町郷土資料館では、京都―綾部間開通100周年・京都―園部間複線電化記念として7月下旬～9月上旬の期間に平成22年度夏季特別展（仮称）「鉄道―果てしなく続く路」の開催を企画しています。山陰本線（京都―綾部間）にまつわる写真や切符などの資料をお持ちの方は、文化博物館（TEL 0771-68-0081）までご連絡ください。

現職14人 新人8人

22人の新議員決定

―南丹市議会議員一般選挙―

今回の選挙は、初めて市全域を一つの選挙区として執行し、27人の候補者が22の議席を巡り激戦を繰り広げました。

投票結果は、当日の有権者数が28,336人、投票者数が20,951人で、投票率は、投票日当日朝の雪の影響もあってか、73.94%となり、平成18年2月の前回選挙の投票率80.53%から6.59%下がりました。

なお、開票結果は、投票総数が

開票は、午後9時20分から南丹市国際交流会館で開始。多くの関係者が投票箱から取り出された投票紙の行方を見守る中、開票作業は左表のとおりです。

20,951票、有効投票が24,870票、無効投票が2,488票、持ち帰り票が0票で、候補者別得票数は左表のとおりです。

候補者別得票数(表)

当	氏名	得票数	所属
当	今面 不悖	1,134	無・新
当	仲 絹枝	1,052	共・現
当	川勝 儀昭	1,043	無・現
当	高野 美好	989	共・現
当	谷 幸	957	無・新
当	木戸 徳吉	951	公・新
当	村田 正夫	931	無・現
当	林 茂	910	公・新
当	森 爲次	886	無・現
当	廣瀬 孝人	834	無・新
当	山下 澄雄	812	民・新
当	矢野 康弘	802	無・現
当	川勝 眞一	793	無・現
当	井尻 治	783	無・現
当	小中 昭	770	無・現
当	仲村 学	749	無・現
当	山下 秋則	736	無・新
当	大町 功	705	無・新
当	大西 一三	695	共・現
当	森 嘉三	674	無・現
当	松尾 武治	659	無・現
当	橋本 尊文	641	無・現
	末武 徹	574	無・現
	井上 勝之	514	無・新
	塩貝 孝之	507	無・新
	松本 幸男	304	無・新
	藤林 重麿	295	無・新

新議員の顔ぶれ

新議員の皆さんの紹介、今後4年間の抱負などについて聞きました。

<記載内容>

氏名(年齢(2月7日現在)/所属党派・新現の別/職業/住所/趣味) 選挙をとおして感じたこと、任期中に取り組みたいことなど

(得票順に掲載。敬称略。所属党派の略称は、無=無所属、共=共産党、公=公明党、民=民主党)

なか きぬえ
仲 絹枝
(52/共・現/無職/八木町/映画鑑賞)



一人一人の“いのち”が大切にされ、だれもが安心して暮らせる福祉優先のまちづくりを目指し、皆さんの声をしっかり市政に届けます。

いまにし もとらす
今面 不悖
(63/無・新/農業/園部町/盆栽、温泉巡り)



高齢化が進行する中、地域住民が高齢者を守るのかが課題。旧町間の融和を図り、南丹市の個性づくりと市としての基盤の整備を目指す。

きど とくきち
木戸 徳吉
(57/公・新/農業/美山町/音楽鑑賞)



高齢世帯が多く、より一層の福祉の充実を痛感。農林業の振興で働く場の確保とともに、一人でも多く採用していただける企業の誘致。

たに みゆき
谷 幸
(59/無・新/農業/八木町/料理、菓子づくり)



地域や女性の声を市政に届け、安心して子育てできるまちづくりや福祉を守る。まあるく、やさしく、ほほえみあるまちを目指す。

たかの みよし
高野 美好
(62/共・現/農業/美山町/鮎友釣り、スキー)



住民サービスの低下、負担の増加に対する不満が多い。特に周辺部に住む人の不安は大きい。弱い立場の人に光があたる市政にチェンジ。

かわかつ のりあき
川勝 儀昭
(49/無・現/農業/八木町/読書、スポーツ)



市民の期待と重責を再認識した。若者の定住対策と地元産業の振興。真の市民参加による行政推進。財政再建により地元要望の実現。

ひろせ たかひと
廣瀬 孝人
(60/無・新/食肉販売業/八木町/スポーツ)



「心」と「心」をつなぐことの大切さを実感。まちづくりに取り入れて、活力のあるいきいき南丹創造を目指します。

もり ためつく
森 爲次
(57/無・現/自営業/園部町/スポーツ)



福祉、文化、スポーツの充実と地域の力を生かし、だれもが生きがいを持てる、活気あるまちづくり。

はやし しげる
林 茂
(60/公・新/自営業/園部町/水泳、剣道)



財政厳しき中だからこそ生活者を守り抜く福祉の充実を目指す。地域経済の活性化を図り雇用の創出で安心と希望の持てる市構築を。

むらた まさお
村田 正夫
(58/無・現/自営業/美山町/読書、スポーツ)



南丹市は広い!と実感。だからこそ現地現場主義!と確信した。議会報告をマメに行い、分かりやすい議会だよりを定期的に発行したい。

いじり おさむ
井尻 治
(69/無・現/団体役員/日吉町/スポーツ、絵画)



超高齢化による集落維持の限界。生活環境の地域格差対策として福祉交通対策など。住民のまちづくり意欲へのサポート体制の確立。

かわかつ しんいち
川勝 眞一
(59/無・現/会社員/八木町/スポーツ)



市政に対して、希望と住みよいまちづくりを感じ、初心を忘れず。市民の声を大切に、お年寄りや子ども達が笑顔で暮らせるまちづくり。

やの やすひろ
矢野 康弘
(70/無・現/農業/園部町/絵画、書道)



住民の声を議会を通じ行政に反映させたい。安心、安全、活気あるまちづくりと均衡ある発展を目指す。人権尊重のまちづくりの推進。

やました ずみお
山下 澄雄
(61/民・新/機械設備業/日吉町/野球、スキー)



市内にもさまざまな格差を感じた。これらを無くす事は不可能だが、少しでも改善し、人としての尊厳ある生き方ができるまちづくり。

おおまち いさお
大町 功
(62/無・新/農業/園部町/詩吟、カラオケ)



地域活性化への期待が大きく、責任の重さを実感。人と人との絆を大切に、若者が住み、働ける環境づくり、高齢者福祉の充実。

やました あきのり
山下 秋則
(53/無・新/行政書士/園部町/水泳、パソコン)



合併後のしがらみ、重荷からのリセットを望む声。旧4町の良いところを生かしながらも市民参加で市として一体感のあるまちづくり。

なかむら まなぶ
仲村 学
(41/無・現/会社役員/日吉町/音楽鑑賞、読書)



次世代を見据えたまちづくりに寄せる期待の高さ。交通基盤の充実、保健医療福祉の充実、子育て支援の充実、災害犯罪に強い政策。

こなか あきら
小中 昭
(57/無・現/農業/美山町/鮎友釣り)



1選挙区になり、地元の期待をより強く感じた。子育て支援の充実・福祉バスの運行・自然環境を守り農林水産業の振興に努める。

はしもと たかふみ
橋本 尊文
(65/無・現/自営業/園部町/スポーツ)



地域の多様性と市民目線での行動を大切に、地域活性化、福祉の充実、少子高齢化対策などによる均衡ある発展と心豊かな社会の実現。

まつお たけし
松尾 武治
(64/無・現/農業/日吉町/古寺めぐり)



「市政に住民の声」を再認識する選挙でした。効率の良い市政運営と周辺部に行政の手が届く「ぬくもりのある市政」を求める。

もり かぞう
森 嘉三
(73/無・現/不動産業/園部町/ゴルフ)



地域の団結ができ、今後の政治活動に生かす。行政主導から住民主導型のまちづくり、間違いない市街地の開発を。商工業の振興。

おおにし かずみ
大西 一三
(60/共・現/行政書士/園部町/読書、山行)



林業再生、農業再生で若年定住促進。バス交通網の拡充、人が集える中心市街地まちづくり。保育所・幼稚園充実、中学校給食実施。

「美」と「和」で「輪」ぶ 南丹文化ジョイントプログラム2009

1月30日、31日の2日間、南丹文化ジョイントプログラム2009を南丹市国際交流会館・南丹市立文化博物館で開催。子どもたちによる伝統芸能の発表、幼児から京都伝統工芸大学の学生までの美術工芸作品の展示や工芸体験など、南丹地域の伝統文化を“みて”“きいて”“ふれて”いただく機会となりました。

次世代へつなぐ南丹地域文化フォーラム

南丹市国際交流会館コスモホールにおいて、南丹地域で伝統芸能に携わる子どもたち3組が身に付けた技を披露しました。



京都府立園部高等学校・附属中学校吟詠剣詩舞部による詩吟・剣舞（写真①）
京丹波町立和知小学校の児童による和知人形浄瑠璃（写真②）
三輪山鉦の子どもたちによる亀岡祭曳山囃子（写真③）

南丹美術工芸教育展



およそ1,100点の作品が展示された会場で、子どもたちの作品に見入る来場者
平面作品の部（写真④）
立体作品の部（写真⑤）

南丹工芸文化祭

今年で3回目を迎えた南丹工芸文化祭。地域の工芸職人、文化協会の皆さんなどの感性あふれる素晴らしい作品を多数展示。また、昨年好評だった工芸体験コーナーは、はしづくり、ストラップづくりなど4つの体験を用意し、老若男女を問わず多くの方が世界に一つだけの作品作りに熱心に取り組んでいました。来場者の皆さんには、南丹地域の工芸文化の香りを堪能いただきました。



ストーンペインティング体験 (写真⑥)、はしづくり体験 (写真⑦)、なべしぎづくり体験 (写真⑧)、授産施設などの商品販売 (写真⑨)、京都伝統工芸大学の学生の作品展示 (写真⑩)、南丹市文化協会連絡協議会の作品展示 (写真⑪)、工芸家の作品展示 (写真⑫)



第26回 国民文化祭・京都2011

ここをを整える文化発心

来年10月29日から11月6日まで、第26回国民文化祭が京都で開催されます。国民文化祭とは、全国各地から多くの「文化」や「人」が集まる国内最大の文化祭典で、日本中でいろいろな文化活動に親しんでいる個人や団体が集まって、日ごろの成果や実力を披露します。南丹地域においても「伝え合う心」をテーマにさまざまなイベントを開催します。

南丹市では、全国から応募のあった工芸作品を展示し、表彰を行う『工芸の祭典』の開催、また、地域で活動されている工芸家の工房や地域のさまざまな情報を盛り込んだ『工房と里の秋めぐり』の秋マップを作成し、南丹市に息づく地域文化を全国に発信する予定です。



▲南丹ジョイントプログラム
2009の応援に駆けつけた
国民文化祭・京都2011
PR隊長 まゆまる

市政への ご意見箱

Q&A

「南丹市政への「ご意見箱」に寄せられたご意見やご提案の一部(要旨)を、市民の皆さんと情報を共有するため、市からの回答と併せて紹介いたします。

なお、市のホームページにも掲載しています。

Q① ごみ袋に関するお願い

わが家は二人暮らしのため小さい袋をいっぱいにするのもかなり日数がかかります。もうワンサイズ小さい袋がほしいです。他市と比べて、袋の値段も高すぎると思います。
(住所不明 女性)

A① 平成21年9月1日から、可燃ごみ指定収集袋に小さなサイズ(約15^{リットル})の袋が増え、3種類になりました。価格については、新しいサイズは従来の小袋の半額とし、お買い求めいただきやすいよう販売枚数は20枚1セットから10枚1セットに変更しました。なお、これまでの指定収集袋も引き続きご使用いただけます。また、ビニール類の指定収集袋は変更ありません。(環境課)

ごみ袋の種類や価格など

販売価格(税込) 10枚/1セット		特長
大袋 (約45 ^{リットル})	756円	レジ袋タイプ (マチ付き)  紺の印刷 (青地) ※再生原料 40%以上使用
中袋 (約30 ^{リットル})	630円	
小袋 (約15 ^{リットル})	315円	

Q② 日吉町のサイレンについて

日吉町では、毎月1日の朝6時にサイレンが鳴ります。日曜日ぐらいは、ゆっくり朝寝坊して疲れを取りたいものですが、朝

6時のサイレンはなんとかしてください。(日吉町 男性)

A② 日吉地域では、これまで火災予防啓発と動作確認のため、市消防団日吉支団によつて毎月1日午前6時と午後9時にサイレン吹鳴を実施していました。近隣住民の方々からのご意見もあり、検討の結果、平成21年12月1日から午前6時のサイレン吹鳴については取りやめることにしましたが、一部の地域では地元の要望もあり、継続しているところもあります。サイレン吹鳴は市消防団日吉支団の部単位で実施しているため、統一されたものではありません。なお、園部地域では毎月1日午後9時に、八木地域では毎月1日午前9時と毎日正午に、美山地域では毎月1日午前7時にサイレン吹鳴しているほか、防災行政無線の動作確認として、八木・日吉・美山地域では毎日正午と午後5時に時報のチャイムを流しています(ただし、美山地域は防災行政無線を整備中であり、3月末日までは試験放送)。そのほか、火災予防週間には、各地域でサイレン吹鳴を実施しています。(総務課)

Q③ 園部駅の駐輪場について

バイクは「原付」しか駐輪できないのは、おかしいと思います。自動二輪の駐車スペースも作ってください。
(住所不明 男性)

A③ 現在、園部駅西口に設置している屋内自転車等駐車場については、道路交通法、駐車場法、消防法などの法律(構造上、設備上などの決まり)により自転車および原付バイク(50cc以下)以外の駐輪はできないことに決まっています。ご理解をお願いします。(都市計画課)



園部駅西口広場自転車等駐車場の構内

Q④ 南丹市の人口等について

「南丹市の人口等」の平成22年1月1日現在の揭示について、人口増加1、世帯増加6となつていますが、疑問が生じます。この集計基準について補足説明をお願いします。(園部町 男性)



▶南丹市ホームページに人口・世帯数の推移も掲載

■「南丹市政へのご意見箱」について

市役所窓口やホームページ内に設置している「ご意見箱」などにお寄せいただいたご意見・ご提言は、市政に生かしていくために市長に報告するとともに、各担当課で内容を検討し、適切な対応に努めています。

A④

世帯とは、届出に基づき世帯主単位に1世帯としていますが、例えば、居住および生計が同一の複数の方々も1世帯ですし、単身で居住し生計を維持されている方も1世帯です。

また、同一の居住でも、生計を別にされている場合は別世帯(2世帯)となる場合もあります。人口・世帯数の推移については、前月比の数値は、異動のあった人口や世帯すべての増減の合計で集計結果を出していますので、ご指摘の数値(人口よりも世帯数の増加が多い)結果となっています。

人口・世帯数の推移については、南丹市ホームページのトップページ「人口・世帯数の推移」からご覧いただくか、市役所本庁・支所窓口にお問い合わせください。(市民課)

個人情報に関することや、個人・団体などに対する誹謗中傷を除き、「広報なんたん」やホームページで、随時紹介します。

【問い合わせ先】情報推進課

TEL 0771-68-0009

インフォメーション

平成22年4月から 広域連合「京都地方税機構」で滞納整理業務を実施します

◆京都地方税機構とは

平成21年8月に設立した「京都地方税機構」は、京都府と府内市町村(京都市を除く)の税業務を共同して行い、納税者の利便性向上を図りながら、より一層の公平・公正な税務行政の実現を目指す広域連合です。

◆業務内容は

納期限を一定経過した未納案件について、府および市町村から移管を受け、滞納整理事務を行います。また、課税業務の共同化に向けた諸準備も順次進めていく予定です。

◆南丹市から京都地方税機構への案件の移管は

平成22年4月以降、対象案件を順次移管します。

- ・平成21年度までに滞納となっている案件…平成22年4月に移管
- ・平成22年度以降に納期限を一定経過した未納案件…随時移管

※移管後の滞納整理事務は、京都地方税機構で行われます。

◆京都地方税機構の窓口

京都地方税機構は、本部(京都府庁内)において大口案件、府内9カ所の地方事務所でそのほかの案件の滞納整理事務を行います。

南丹市を管轄する地方事務所は「中部地方事務所」(京都府亀岡総合庁舎内)となります。

【問い合わせ先】 税務課収納係 TEL 0771-68-0009

地域の安心・安全の確保に向けて

—平成22年南丹市消防団出初式—

1月10日、スプリングスひよし体育館で消防団出初式を行いました。市消防団員401人、京都中部広域消防組合園部消防署員44人、消防ポンプ自動車など合わせて18台が参加しました。



▲献身的な消防団活動をたたえて団員を表彰

式では、佐々木市長が「今年度は、市として初めて救助資材を搭載した消防車両を導入し、多様化する災害に備えるとともに、関係機関と連携を強めさらなる消防団活動の充実に向け取り組んでいきたい」と述べました。益田武彦市消防団長は、「団員一人一人が新たな気持ちで、『自分たちのまちは自分たちで守る』という理念のもと、

技術と知識の向上を図り、団員相互が結束し、地域の安心、安全の確保に貢献してほしい」と訓示しました。

その後、団員の功績、勤続をたたえて京都府消防協会長表彰、南丹市長表彰および南丹市消防団長表彰を授与。併せて京都府知事表彰、消防庁長官表彰、日本消防協会会長表彰および丹波地方消防連絡協議会長表彰の受章予定者を披露しました。

式終了後には、小雨の降る中、勢いよく一斉放水を行いました。

被表彰者（敬称略）

■京都府消防協会長表彰

功績章

【園部】分団長・坂矢勝哉

【八木】副団長・八木治

勤功章

【園部】分団長・上田実

【美山】副団長・武田太／分団長・

古北勝志

精勤章

【園部】分団長・大下隆行／副分団長・小林浩

【八木】分団長・西田敏・岸上直樹

【日吉】分団長・井尻恵介／部長・山本和彦

【美山】分団長・眞壁正志／副分団長・工藤吉幸

精勤章

【園部】副分団長・木村圭司／部長・谷口孝之・下間勇・中井崇

／団員・松本真起夫・西田学

【八木】副分団長・廣瀬信二・浅田崇則・明田正直・高橋安伸

／部長・松本清臣・白井出

【日吉】副分団長・湯浅啓史／部長・仁藤貴之・松本修己・湯浅

太司・中瀬克彦・中島信幸

【美山】副分団長・仲田只則／部長・川勝吉洋・大野浩・梶原幸男・橋本乾一・福本晃

【園部】部長・谷正和／班長・奥村幸裕／団員・岩内忍・西岡由幸・木村健・下西基文・片山雅彦・西村直行・野々口敦

【八木】部長・人見明芳・廣瀬聖一・竹井達也・澤田知幸・谷学／班

長・小路紀之・大鳥羽裕之／団員・浅田聡・八田宜典

【日吉】班長・廣野義之・小栗玉樹・

内藤卓磨／団員・吉田正・谷口卓也・出野徹

【美山】部長・藤元浩二／班長・名古屋樹・山内博文・采尾浩史

／団員・木本隆次・上澤豊子

【園部】部長・森晃宏／班長・寺尾洋三・内藤克彦・高屋正則・森田愛三・畑中博之・高屋忠明・田中勝博／団員・樋口雅英・飯田学・清水俊有・近谷俊彦・大坪健司・吉田正二・長岡誠之・奥村賢司

【八木】部長・齊藤和則・國府紀行・中川哲也・今西洋介・松永浩一・櫻井靖泰／班長・中川邦彦・麻田昭・市原寿郎・井上博史／団員・谷口広和・齊藤博之・丹羽文雄・藤田武久・鶴山昌仁・片山貴裕

【日吉】班長・塩内友行／団員・増田哲士・松尾望・齋藤健・楓和宏・面村隆一・塩貝強・内藤直樹・井尻智道・山口耕平・井尻昌宏

【美山】班長・鈴木直彦・青山広晴・下田高義／団員・溝上智也・木戸悟・中藤暢行・登立修史・下田真徳・尾上敦史・高畑淳司・南広美

20年勤続表彰

【園部】分団長・須知猛／部長・

垣村辰男／班長・松本均・西田常由・進士仁一／団員・小野田裕之・森康高・松本義昭・竹本達夫・高屋一成・西田輝夫・奥村和彦・安達実弦・橋本浩二

【八木】副分団長・竹上利晴・谷口成敏／部長・谷口文晴・小森広宣／班長・前田数之／団員・園田豊・麻田博之・浅田聡・廣瀬輝明・大槻博司・家垣卓令

【日吉】副分団長・吉田昌平／部長・近藤秀樹／班長・村山秀和・空山美智男／団員・上山邦浩・中川高志・湯浅浩史・近藤昭久・中世直喜・平山俊和・今井昌仙・織部一幸

【美山】部長・上林博文・今井陽一・加藤広市／班長・大澤繁和／団員・野口則彰・岩間利昭・下東茂隆・川勝雅幸・弓削憲一

10年勤続表彰

【園部】副分団長・野中大樹／部長・谷口孝之・矢野善大・岡田紀章・矢野修一・足立伸二・仲勝／班長・野中正人・中嶋了士／団員・樋口雅英・細見友義・四方豊・保田光治・山下真司・桐野博章・澤田貴宣・村田良智・片山卓美・片山利充・高屋光男・吉田孝司・中西美徳・角豪宏・中西秀晃・西田茂樹・内藤正己・神原行志

【八木】部長・中川樹史・齊藤和則／班長・吉川光男・所修正・林秀隆・森雅彦／団員・川勝広行・丹羽文雄・齊藤博之・梅山陽平・園田紀明・野木真行・八木隆司・八田宜典・八木理仁・木宏幸・明田智・小槻達也

【日吉】部長・仁藤貴之・松本修己／団員・坂本昌洋・中瀬孝彦・矢原大二郎・岩城光輝・木戸孝之・川隅真二・中村高士

【美山】団員・中野修・小倉克也・藤原誉・岩井智之・平井幹人・村上豊・岡本真宜・上田敬史・野々村省吾・高畑淳司

■京都府知事表彰（平成22年2月） 功労章

【園部】副団長・野々口志朗

永年勤続功労章

【園部】分団長・須知猛

【日吉】副団長・久野秀一

【美山】分団長・小原昭雄

精励章

【園部】副分団長・野中大樹／部長・大町秀晃・高屋良広／団員・中村公治

【八木】部長・佐々木達也・木村武・廣瀬実・八木道徳

【日吉】部長・船越和幸・千馬正資・栃下勝広・中田勝利

【美山】副分団長・長野忠行・武田英喜・松本昭浩／部長・大上

博次

■消防庁長官表彰（平成22年3月） 永年勤続功労章

【園部】副団長・奥村久夫

【八木】副団長・服部勝也

【美山】副団長・東満

■日本消防協会会長表彰（平成22年3月） 功績章

【日吉】分団長・芦田茂

【八木】分団長・池田一哉

【日吉】分団長・山本学

【美山】分団長・小野秀明・中島

勲章

勤続章

【八木】団員・家垣幸弘・井上和彦

【日吉】団員・田中紀文・水口一也・栃下忠行・湯浅重義・山形久・山形文彦・上坊敦彦・塩貝隆

【丹波地方消防連絡協議会長表彰（平成22年1月）

【園部】部長・奥村浩幸／班長・森正樹・大下克美／団員・橋本貴弘・楠川浩之

【八木】部長・小森広宣・川勝正義／団員・松本光彦・明田泰史・水口敏明

【日吉】部長・中川達也・栃下光治・宇野秀一・上原洋二／班長・湯浅武

【美山】部長・加藤広市・竹村伸次・

飯田真人・戸本宏樹／団員・伊藤智之

先人の魂を引き継ぎ放水！

市消防団出初式終了後、大堰川河川敷（八木町八木）において八木支団出初式を行い、腕用ポンプによる放水が披露されました。このポンプは、旧新庄村の新庄消防組（現在の八木支団北分団第4部）で使用されていたものを、八木支団と市が復元したもので、この日の披露のため団員が訓練に励みました。消防車のない時代、火災から村を守ったポンプからの放水に、団員や観客から大きな拍手が送られました。



▲息を合わせてポンプを操作する団員

▶ 誓いの言葉を述べる山田智苗美さん（中央）と藤原知奈美さん（左）



▲友人との再会に「元気にしてた!？」

社会づくりに貢献できる大人に — 平成22年南丹市成人式 —

1月10日、南丹市立園部公民館で二十歳の門出を祝う成人式を挙行了しました。スーツ、羽織はかまや振り袖姿の新成人330人が出席し、小・中学校時代の恩師や多くの来賓が若者の輝かしい前途を祝福しました。

今年の成人式対象者は、平成元年4月2日から平成22年4月1日生まれの市内在住者448人（園部252人、八木86人、日吉60人、美山50人）で、市内の小・中学校を卒業した方などで出席を希望される方々も対象としました。

式典で佐々木市長は新成人に対し、「未来の社会は皆さんのような若い世代が築きあげるものです。ふるさと南丹市に誇りと愛着を持ち、積極的にまちづくりに参加していただき、新しい時代の南丹市を共に築きましょう」と述べました。そして出席した新成人全員に、成人式実行委員が選んだ折りたたみ傘を南丹市からの記念品として贈り、大林直人さんが代表して壇上で受け取られました。

そして、新成人を代表して山田智苗美さんと藤原知奈美さんが「成人したことにより生まれる社会の責任で、身の引き締まる思いです。今まで支えていただいた方々への感謝を忘れず、私たち一人一人が新たな担い手として社会づくりに貢献できる大人になりたいです」と、誓いの言葉を述べられました。

式典終了後は記念撮影を行い、人生の節目にきらめく姿を写真に収めました。地域ごとに分かれて行われた懇談会では、久しぶりに会う友人や恩師と近況を報告したり、写真を撮ったりして、会場いっばいに笑顔が溢れていました。



▶ 懐かしい先生方や友人との再会にカシャ!



行政 トピックス



市長と地域住民のパイプ役
輝くまちの未来、後進に託す

—南丹市参与退任式—

12月31日付けで退任する3人の参与の退任式を、12月28日に市役所において行いました。

参与は、旧町の特別職の中から各町1人を選任し、市長が任命。各支所長を兼ね、南丹市誕生から4年間、地域住民の相談役となり、



▲職員から花束を受ける参与



▲拍手で送る職員の中を退場する参与

本庁と支所とのパイプ役として尽力しました。

國府正典参与は、八木町役場に奉職し、建設課長、総務課長、参事、八木町助役、合併後は参与、市長職務代理者を歴任。浅野敏昭参与は、日吉町役場に奉職し、ダム対策課長、企画推進課長、総務課長、参事、日吉町助役、合併後は参与を歴任。中島三夫参与は、美山町議会議員、同副議長、美山町長、合併後は参与を歴任しました。

なお、1月1日付けで人事異動を行い、各支所に支所長（部長級）を配置し、参与在任中と同様に本庁・支所間の連携を深め市政を推進します。

両首長と船井まらの未来を語る

—新春賀詞交換会—

新年のあいさつを交わす「新春賀詞交換会」が1月4日、南丹市国際交流会館で開かれ、佐々木南丹市長、寺尾京丹波町長や商工関係者らおよそ170人が出席されました。

主催する社団法人船井青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」という基本理念のもと活動。「輝け！自分が輝けば船井まらが輝く！！笑顔溢れる船井まらとなれ！！」を平成22年度スローガンとしてさまざまな活動を展開されます。

この日は、森邦彦理事長と両首長の3人による「船井まらの未来」をテーマにしたパネルディスカッションも行われました。



▲オープニングに太鼓の演奏を披露する会員ら

叙勲

旭日単光章

「地域交通網整備に尽力」

故・八木 守雄さん(八木町)

昭和54年11月から3期12年間、八木町議会議員として地方行政の発展に尽力。八木町議会副議長、同産業建設常任委員会委員長、同国鉄国道対策特別委員会委員長などを歴任。議員在任中は、丸いも・玉ねぎなど特産品による農業振興対策を始め、土地区画整理事業、下排水路対策事業の推進に尽力されたほか、副議長在任中は、山陰本線複線電化や京都縦貫自動車道の整備促進に、その手腕を大いに発揮されました。

ご冥福をお祈りします。

いきいき南丹

-36-

お元気ですか？
保健師です。



女性のがんは増えています！

定期的に検診を受けましょう！

がんは「他人事」ではありません

日本人の3人に1人（65歳以上では2人に1人）が、がんで命を落としていることから、日本は、世界有数の「がん大国」とまでいわれています。

がんの中でも、欧米に多いとされている乳がん、前立腺がん、大腸がんが急増。これらは「食生活の欧米化」による高脂肪食が原因とされています。また、女性特有の子宮がんや乳がんは、ほかのがんと異なり30〜40歳代の若い女性に増えています。

欧米では、8割以上の女性が乳がん検診、子宮がん検診を受けていますが、日本人の受診率は低く、南丹市の市民検診での受診率は、子宮がん検診が38%、乳がん検診が36%の状況です。

がん検診受診率が50%以上になると死亡率の減少につながるこ

とから、目標を50%としています。が、目標には程遠い状況です。

20歳から子宮がん検診を

子宮がんは、胎児を収める子宮体部のできる「子宮体がん」と、子宮の出口のできる「子宮頸がん」に分かれます。約7割が子宮頸がん、市民検診で実施している検診も子宮頸がん検診です。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因とされ、20〜30歳代の方に増えています。初期のうちには症状がないため、早期に発見するには検診が有効な手段です。20歳以上の方に子宮がん検診の受診をお勧めします。

20人に1人が乳がん！

女性のがんの中で一番多いのが乳がん、年間4万人の女性が発症しており、日本人女性の20人に1人が乳がんになるとも予測されています。乳がんは、女性ホルモ

今日からやってみよう、乳がんのセルフチェック!!

<p>1 反対の手の指で、乳房と脇の下にしこりがないか、乳首をつまんで分泌物がないかどうかチェック!</p>	<p>2 乳がんが進行すると、乳房の大きさや左右差など、見た目でもわかります。鏡の前で、さっそく、チェック!</p>
<p>3 お風呂では、スポンジやタオルを使わず、泡立てた石けんなどをつけて、手と指でチェック!</p>	<p>4 仰向けになって、肩の後ろにタオルを敷いて乳房を平たく広げるようにして、乳房や脇の下にしこりをチェック!</p>

ンの刺激を受けてできる乳腺のがんで、40歳後半に最も発生します。40歳以上の方には、マンモグラフィ（乳腺専用のレントゲン）を使った検診を、2年に一度受けられることをお勧めします。

乳がんは、ただ一つ「自分で見つけられる」がんでもあります。検診の受診と合わせて、乳房と脇の下にしこりがないか、月に一度はセルフチェックしましょう。

予防には日ごろの心掛けと検診を

がんは、早期に見えれば完治の可能性も高くなります。

がん細胞は、毎日体の中で多数できては、免疫の細胞が殺しています。免疫が取りこぼしたがん細胞が、10〜15年近い時間を経て、目に見える「がん」になっていくのです。たばこを吸わず、酒もほどほどに、食事のバランスに気を付け、野菜中心の食生活や運動を心掛けると「がん」になるリスクは減少しますが、ゼロにはなりません。早期にがんを発見して完治させるには、がん検診が重要です。「生活習慣の改善+がん検診」の二段構えが必要なのです。

喫煙は、がんの発生に大きな影響があり、本人が吸い込む煙より、副流煙の方が発がん性が高いため、周りの人にも迷惑が掛かります。禁煙により、日本人男性のがんの約3割を予防できるともいわれています。

市民検診の申し込みはお済みですか

平成22年度の市民健診の申し込みは、3月4日が締め切りでした。うっかり忘れておられた方、今からでも大丈夫です。市役所健康課、各支所健康福祉課までお申し込みください。1年に一度、自分の体をチェックしましょう。

「共感的な人間関係の中で」

先生、ドッジボール

めっちゃ楽しかったなあ」先日実施した大野小学校児童会のスポーツ大会の後、1年生が私

の手を引いて話してくれました。同じチームの6年生が2回もボールを譲ってくれたこと、後で自分もお礼に1回ボールを譲ったことを、6年担任

の私に身振りも入れて一生懸命伝えてくれたのでした。実は私も審判をしながらその様子を見ていました。1年生が「恩返し」と言っている様子を見て取ったとき、6年生が一瞬驚き、少しちゆうちよした後、満面の笑顔で「ありがとう！」と応えたそのうれしそうな顔が忘れられません。

この日は児童会本部の子どもたちも「全員が仲良くスポーツを楽しむことができるように」と、いろいろと工夫して準備しました。5・6年生は自分自身も球技を楽しむ一方で、全員が楽しめるように、下級生にボールを譲ったり拍手や褒め言葉で盛り上げたりしていました。本校の人権旬間は12月。児童会本部を中心に「かがやこう自分！とどけよう、あたたかい心」をテーマに、「かがや

きカード」の取り組みを進めました。「一人一人が自信と勇氣を持つてがんばれるようにしたい」という願いを込めて、友達の良いところや頑張っているところを見つけ、カードに書いて届けるのです。この取り組みを通じて、互いの良さに目を向け、認め合うことで、一人一人の輝きが増すこと、より楽しい学校になることをあらためて子どもたちは学ぶことができました。

一人一人の良さや努力を認め合いい、失敗しても一緒に頑張って悔しがったり励ましたりしてくれる仲間。そんな共感的に自分を支えてくれる友達がいる学級の中では、子どもたちは伸び伸びと自分の力を発揮することができます。

本校では、今後、共に学び共に育ち合える共感的な仲間づくりを大切にした取り組みを充実させていきたいと思います。



(大野小学校 人権教育主任 伊藤 太郎)

伊藤 太郎

環・境・市・民

〜感激！

エコ発見

エコちゃん

—第12回—



今回のエコリスト

小寺典子さん

(園部町竹井)



南丹市生活改善推進員連絡協議会会長の小寺さんの

今回は環境に配慮した、とても簡単！エコレシピの紹介です。

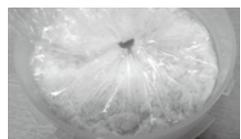
おからで作る『エコ味噌』

捨てられがちなおからを使い、加熱の必要がなく、電気やガスを使わずに作れます。

材料 ・おから630g
・こうじ250g
・塩100g

①こうじをほぐして塩と混ぜ、おからを加えて混ぜ合わせる。

②①を丸め、ビニール袋をひいた容器に空気を抜くように叩きつけながら詰める。



③表面に塩をまぶし、口をしつかり輪ゴムで縛り、重石を乗せ、半年から1年熟成させて完成。

料理は、味や栄養バランスはもとより、環境への配慮を欠かしません。

買い物には必ずエコバックを利用し、料理は水や熱を使い過ぎないように、素早く、手際良く。食材は捨てる部分も少なくし、生ごみは堆肥として土へ還元。油污れは紙でふいてから洗うという徹底ぶりです。環境にやさしくありたいの思いが伝わります。

「毎年ユズがたくさん採れるのですが、例えばユズの一番外側の皮はおろしておもちに混ぜて『ゆずもち』に。次の分厚い皮はジャムに。果汁はジュースにして、最後に種は日本酒や焼酎に入れておくと化粧水になりますよ。なんでも捨てる前に、もうひと工夫です」

(環境課)



ページからとびだす 笑顔と笑い声

南丹市「子ども読書の街」づくり標語募集での最優秀作品を使ったポスターが完成しました。

昨年10月に募集した標語の最優秀作品を阿部月歩さん(園部第二小2年)の『ページからとびだす笑顔と笑い声』に決定し、その作品を使ったポスターが完成しました。

今後、市内の図書館や学校などの施設に張り出し、子どもたちの読書活動を応援します。



▲完成したポスター

優秀作品の表彰者は、次のとおりです。

【最優秀作品】

阿部 月歩さん



【優秀作品】

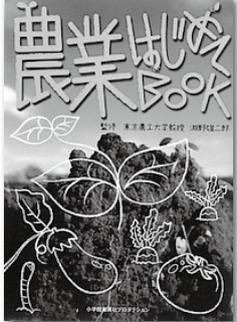
伊藤 寿嶺さん

「みんなで わになり えがおで どくしょ」

関 麻里さん

「思い出の あの絵本達を 子どもにも」

新刊紹介



『農業はじめてBOOK』

監修…淵野 雄二郎
発行…小学館集英社プロダクション

右も左も分からない、農業ビギナーのための入門書。

独り立ちするためのプロセスまで、分かりやすく丁寧に解説してあります。

暮らしとホツと

—第6回—
消費生活情報

◇安全に製品を使うために

私たちの暮らしを便利にしてくれるさまざまな製品。しかし一方で製品が古くなり部品などが劣化すると、火災や死亡事故などを起こすこともあります。また、製品に欠陥がある場合、事故が発生することもあります。安全に製品を使うために、私たち消費者にできることがあります。

点検を受けましょう!

「長期使用製品安全点検制度」(平成21年4月1日施行)の対象となつている製品(※1)を購入した場合は、メーカーに所有者登録します。点検時期が来るとメーカーから通知が来ますので必ず点検(有料)を受けましょう。

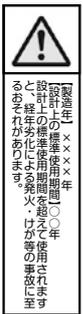
転居・所有者を変更した場合、所有者情報の変更も忘れずに行いましょう。

標準使用期間を確認し適切な使用を!

- ※1 石油給湯器・石油ふろがま、FF式石油温風暖房機・ビルトイン式電気食器洗機・浴室用電気乾燥機・室内式ガス瞬間湯沸器・室内式ガスふろがま

「長期使用製品安全表示制度」で指定された製品(※2)には次のような表示(※3)が製造者に義務付けられています。標準使用期間が過ぎたら異常な音や振動、おいなど製品の変化に注意しましょう。

- ※2 扇風機・ブラウン管テレビなど
- ※3 長期使用製品安全表示



リコール情報をチェック!

リコール情報に気付かず製品を使つていて事故が起きたという報告もあります。メーカーから出されるリコール情報に注意しましょう。経済産業省(製品安全ガイド)や独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)のホームページではリコール情報をまとめて確認することができます。(商工観光課)



「あっさり菜花の白和え」

【材料】(4人分)

菜花 (200g)、人参 (好みで適量)
豆腐 (半丁)、ごま (大さじ3)
白みそ (大さじ3)、砂糖 (大さじ3)

【作り方】

- ① 豆腐をクッキングペーパーで包み、まな板などを上に置き、水切りをする。
- ② 彩りとなる人参を千切りにする。
- ③ 沸騰したお湯にひとつまみの塩(分量外)を入れて、菜花と人参をさっとゆでる。
- ④ ごまをすり鉢で油が出るくらいまでよくする。
- ⑤ ④に白みそと砂糖を少しずつ入れて混ぜる。
- ⑥ 水切りをした豆腐を加え、手で潰しながら混ぜる。
- ⑦ 水気をしぼった菜花と人参を加えて混ぜ合わせる。

※ポイント!

菜花をゆで過ぎると、つぼみの部分の食感が悪くなるのでさっとゆでること。味付けはあっさり味に仕上がっていますので、ご家庭のお好みで調整してください。

木喰の郷もろはた加工部
代表 明田 保子さん
TEL : (0771) 42-3589

にこにこ微笑む、ウインクをするなどユニークな表情の仏像で有名な「木喰さん」。八木町諸畑は、木喰上人(木喰五行満上人)が残した「微笑みの仏像」の郷として知られています。

この地で平成13年6月から活動されている農事組合法人「木喰の郷もろはた加工部」は、地元産の材料にこだわり、みそやもち、漬物などを作られています。会員は女性12人で、主力商品「もくぢやん味噌」を府内最大級のJA京都農畜産物直売所「ファーマーズ・マーケットたわわ朝霧」(亀岡市篠町)に出荷されているほか、注文販売のおぎや総菜加工にも大忙しです。

また、農事組合法人で生産を始めた「菜花(京のブランド産品『花菜』)を使つての商品開発にも奮闘中。「バター炒めはおいしいけれど、時間が経つと色合いが落ちる



▲仕込み中の味噌は秋ごろまで熟成

わ」「この食感を残すためには、ゆで時間がポイントやな」。地元で作った農作物をおいしく食べてもらうためアイデアを持ち寄り、弾む会話に微笑みが絶えません。

そしてあつという間に、からつと揚がった菜花の天ぷら、白和え、からし合え、みそ汁、漬物に混ぜご飯と、試作品のフルコースが出来上がりました。

ほかにも、規格外の黒大豆で作るみその開発と商品化も計画中のこと。現在、同地の農産物直売所が改修中で、加工部の活躍の場がまた一つ広がります。

微笑みあふれる愛情いっぱいの手作りの味が木喰の郷から広がっていきます。

八木町の大堰川にコハクチョウ 11 羽が越冬のために飛来しました。丹波地域に姿を現すのは珍しく、年初めに八木町鳥羽で確認された後、亀岡市千代川町などでも確認され、1 月末に再度八木町に飛来。グレーがかった幼鳥を連れ、潜ったり羽繕いをしたりする姿は愛らしく、同町鳥羽の田村耕作さんは「大堰川でコハクチョウを見たのは初めて」とうれしそうに話されていました。南丹市では下水道などの整備を進め、「里川」的な自然環境が取り戻せつつあります。今後さらに水洗化の向上に努め、水鳥が羽を休められる水質環境を守っていきます。



▲川の上流に移動する 11 羽のコハクチョウ

「大堰川の水面に映る白い姿きらり」

(1/24 八木町山室の大堰川(桂川) 左岸から撮影)



▲勢いよくスタートする参加者(ロードレースの部)

南丹市八木運動公園をスタート・ゴールとする「大堰川ジョギング大会」がNPO法人八木町スポーツ協会の主催で開かれ、210人が力走。ロードレースの部と、ファミリージョギングの部があり、参加した西村愛美さん(八木中2年)は「しんどかったけど、沿道の応援がうれしかった」とすがすがしい笑顔で話していました。レース後は、みず菜や九条ねぎなど地元野菜を酒かすで味付けした「大堰川なべ」が振る舞われました。JA京都八木女性部の滝野かつ子さんは「日本の伝統的な味を子どものころから舌で覚えてほしい」と愛情を込められていました。



▲心と体をあたためる大堰川なべ

「心も体もあたたまる冬の風物詩」

(1/31 大堰川ジョギング大会)

「みんなの夢や希望天高く舞い上がれ」

(1/15 南丹そのべとんどまつり)



▲やぐらに点火する佐々木市長ら

しめ飾りや書き初めなどを燃やし、今年1年の無病息災や字の上達を願う「とんど焼き」が市内各所で行われました。この日は南丹市商工会園部支所主催の南丹そのべとんどまつりが園部公園スポーツ広場で開催。園部幼稚園4歳児や近隣住民らおよそ300人が、約7メートルあるやぐらが勢い良く燃え上がる様を見守りました。

会場では主催者がぜんざいや甘酒を無料で振る舞ったほか、今回初めて「京・来て観て丹波の会」が猪汁を提供。参加者は冬の味覚に舌鼓を打っていました。



▲放水を行う園部消防署日吉出張所の隊員

武尾神社（園部町高屋）、住吉神社（八木町西田）、多治神社（日吉町田原）、道相神社（美山町宮脇）の市内4つの神社において文化財防火訓練が行われました。1月26日の文化財防火デーに合わせ園部消防署、教育委員会が主催し、消防団、各神社の保存会などが協力して実施したもので、31日に多治神社で行われた訓練にはおよそ70人が参加。園部消防署日吉出張所と消防団日吉支団第2分団の消防車が出動し、迅速な放水が行われました。

（1/31）文化財防火訓練

「文化財を火災から守り後世へ」

美山町北集落において、6回目となる「かやぶきの里雪灯廊」を同実行委員会が開催。今年は雪不足のため、集落一帯に木製の灯ろう（花灯ろう）を設置しましたが、最終日には待望の雪が降り、子どもたちがバケツで作った雪灯ろうに明かりが付き、雪化粧のかやぶき民家を幻想的にもしました。初日と最終日には花火が打ち上げられたほか、屋台で温かいおでんや豚汁などを販売。集落内はさまざまなアングルで写真を撮る観光客で溢れました。



▲雪灯ろうと花灯ろうがともすかやぶき屋根

「空から真っ白雪のプレゼント」

（1/30）2/6 第6回かやぶきの里雪灯廊

「男も女も輝ける社会に向けて」



▲男女共同参画社会への思いを語る参加者

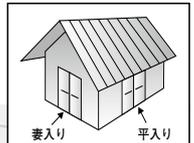
第2回となるキラリなんたんカフェを八木支所で開催。南丹市女性ネットワーク会議の役員、男性参加者などが「まち・むらで女と男が対等に協力できるためには」などのテーマで思いを語り合いました。

女性参加者は「こうした場に参加できるのは、夫の理解があってこそ。女性が社会で活躍するためには家族の理解と協力が不可欠」と述べ、「女性は優れた能力があるのに会の役員などを受けてもらえない。自信をもって地域で活躍してほしい」という男性参加者の声もありました。

（1/18）第2回キラリなんたんカフェ

「町家は財産。まちづくりに生かそう」

園部町中心部の旧城下町の風情を残す町並みをまちづくりに生かそうと第1回目の「町家フォーラム」をNPO法人にぎわいコンソーシアム園部と南丹市が共催。およそ30人が参加されました。合羽家旅館^{かっぱ}での京都府立大学の太場修教授による講義「園部の町並み、町家建築の特長について」の後、町並みを散策。妻入りと平入りの家が混在している様子などを確認しました。このフォーラムは、3月21日まで全5回開催します。



▲町並みを見て回る参加者

（1/24）2/11・21 町家フォーラム

なんたんミュージアム -19-

―南丹市立殿田小学校―

※担任の先生、担当教科の先生の
講評を掲載しています。

「きょうりゅうとあそぶ」

山口 大斗さん（1年）



▲恐竜の世界でいろいろな生き物たちと楽しく遊んでいる様子が版画で表せました。

「給食当番」

今井 日和さん（4年）



▲友達の姿をよく見てクロッキーできました。色画用紙と白の絵の具の対比が生きて、動きのある絵になりました。

「リコーダーをふく友だち」

湯浅 きずなさん（3年）



▶リコーダーを頑張って吹こうとしている様子が、表情からよく伝わってきます。

「イルカ・いるか」

栃下 聡さん（5年）



▲絵手紙を版画で作りました。2頭のイルカが仲良く泳いでいます。

編集後記

平成20年8・9月号から広報を担当してきたAに代わり今回からダブルYで広報を担当することになりました。見やすいレイアウト、読みやすい文章にと試行錯誤するのですが、頭の中はおぼろ月夜のごとく、見渡す紙面はかすみ深し…。前途は多難ですが、皆さんに読んでいただけるよう工夫したいと思います。

(Y0)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街がきらめくふるさと **南丹市**
なんたんし



- 総人口：34,739人(-34)
(男：16,702人・女：18,037人)
(-11) (-23)
- 世帯数：13,526世帯(+2)
(平成22年3月1日現在)
()内は前月比



わが家のアイドル

●園部町

廣戸

けんぞう
建蔵くん（1歳2カ月）

「歩行初心者だけど、ワンパクぶりは兄ちゃんに負けない蔵（ぞう）！」

写真掲載の応募をお待ちしています。（応募数によっては順番待ちになることがあります）詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653
URL: <http://www.city.nantan.kyoto.jp>
e-mail: jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、森林認証紙、ソインキ(大豆油)を採用しています。